

ひよし社協

日吉地区社会福祉協議会

第64号

発行日 令和4年9月1日
 会長 片野芳昭
 発行集 日吉地区社会福祉協議会
 編印 (045)534-6532
 刷有限会社 創文社

コロナ禍での対応も早3年です

日吉地区社会福祉協議会 副会長 青丸



令和4年度も早くも半年が過ぎようとしておりましたが、相変わらずコロナに振りまわされました。3年間であります。

昨年までの2年間は、日吉地区社協としての事業は残念ながら多くの皆様のお力添えがありながらも活動中止をせざるをえませんでした。そうした中でも、民生・児童委員、ケア委員の方々、また地域で様々な形で多くの皆様方をサポートして頂いておりますボランティアの団体の皆様に感謝申し上げます。

はじめまして

港北区社会福祉協議会

事務局長 仲丸

等



こんにちは、今年の4月に港北区社会福祉協議会の事務局長になりました仲丸と申します。

日吉地区社協の広報紙「ひよし社協」に機会をいただきましたので、コロナ禍での地域の活動について思うことを述べさせていただきます。

事務局長になりました仲丸と申します。日吉地区社協の広報紙「ひよし社協」に機会をいただきましたので、コロナ禍での地域の活動について思うことを述べさせていただきます。

令和2年に新型コロナウイルス感染症が広まり始めましたが、「ここまで続くとは」と言うのが素直な感想です。私は、地域活動において「人に会うこと」、「お話をすること」は大切なことと思っています。以前の職場では感染症予防のため多くの会議をオンラインで行つていましたが、状況を見なが

た事務局長になりました仲丸と申します。日吉地区社協の広報紙「ひよし社協」に機会をいただきましたので、コロナ禍での地域の活動について思うことを述べさせていただきます。

令和2年に新型コロナウイルス感染症が広まり始めましたが、「ここまで続くとは」と言うのが素直な感想です。私は、地域活動において「人に会うこと」、「お話をすること」は大切なことと思っています。以前の職場では感染症予防のため多くの会議をオンラインで行つていましたが、状況を見なが

た事務局長になりました仲丸と申します。日吉地区社協の広報紙「ひよし社協」に機会をいただきましたので、コロナ禍での地域の活動について思うことを述べさせていただきます。



日吉地区社協 副会長 青孝

「光と活力」推進事業
助成金交付制度

今年度も「光と活力」推進事業助成金交付制度に2件の申請があり、助成金審査会の承認を得て助成金が交付されました。

この制度は、【地域福祉のための新規事業を立ち上げる団体】などの新たに資金が必要な団体に速やかに、より細かく応援できる助成金交付による幅広い支援をして参ります。

小さな団体の活動に光を当てその活動が大きな活力となるようにという『光と活力』に込めた思いを繋いでいく助成金制度となりますよう、引き続き皆様のご協力をお願いいいたします。

ろですが、まずは身近からと「ご近所の方との挨拶」、「家の周りの道の清掃」から始めたところです。

皆様と一緒に「一人ひとりの困った」を解決できる様に頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

令和4年度 福祉講座開催予定

下田地域ケアプラザ主催の『しもだ畑プロジェクト』に参加したメンバード構成されている団体です。

煙作業を通して地域での仲間づくり・体力づくりなどを目的にしています。

7月より烟を借りて実際に活動をスタートする事ができ、オクラやナス、モロヘイヤなどが収穫できました。

また、現在も下田ケアプラザ主催のプロジェクトにもボランティアとして継続して参加することで地域の福祉活動の一翼を担えればと考えています。

プロジェクトにもボランティアとして継続して参加することで地域の福祉活動の一翼を担えればと考えています。

小笠原区画ではあります。ですが今後は収穫した野菜を利用し地域の方と交流ができればと思

ろですが、まずは身近からと「ご近所の方との挨拶」、「家の周りの道の清掃」から始めたところです。

皆様と一緒に「一人ひとりの困った」を解決できる様に頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

【令和4年度5月期
助成金交付団体のご紹介
下田 farmers しもだ畑】



第一回 令和4年10月
会場 地域ケアプラザ、および各地区的自治会館を予定しています。

下田地域ケアプラザ主催の『しもだ畑プロジェクト』に参加したメンバード構成されている団体です。

煙作業を通して地域での仲間づくり・体力づくりなどを目的にしています。

7月より烟を借りて実際に活動をスタートする事ができ、オクラやナス、モロヘイヤなどが収穫できました。

また、現在も下田ケアプラザ主催のプロジェクトにもボランティアとして継続して参加することで地域の福祉活動の一翼を担えればと考えています。

小笠原区画ではあります。ですが今後は収穫した野菜を利用し地域の方と交流ができればと思

ろですが、まずは身近からと「ご近所の方との挨拶」、「家の周りの道の清掃」から始めたところです。

皆様と一緒に「一人ひとりの困った」を解決できる様に頑張っていきますのでよろしくお願い申し上げます。

【令和4年度5月期
助成金交付団体のご紹介
下田 farmers しもだ畑】



★お知らせ★

コロナに負けずに活動を!!

下田地区主任児童委員 田原 浩美

「えーむずかしい。ヒントちようだい!!」「あつ、わかつた。」コロナ禍になつてから久しぶりに聞く、子どもたちの弾むような声。「下田はひとつの家族」をコンセプトにつなぎ広場「わらべ」を立ち上げた直後、コロナが蔓延し始め活動ができなくなり、落ち着いた頃にクラフト等を企画しましたが、感染拡大で中止を余儀なくされました。そこで、室内がだめなら屋外でやろうと、町の中心部にある真福寺の境内を借り、何とか開催することができました。内容は、散策しながらクイズを解いてもらう形式です。当日は家族や友達同士だけでなく、その場で出会った人たちと一緒にワイワイと会話を楽しんでいる様子が見られ嬉しく感じました。住民の孤立化が進んでいる中で、今後も対策や工夫をこらして、住民同士が繋がれる場所を作っていくことが出来れば良いなと思っています。



日吉地区社会福祉協議会の活動

コロナ禍でのふれんどの活動

日吉本町地区 ふれんど代表 畑柳 実栄

『ふれんど』は障がいのある人たちの集う居場所です。活動を始めてから11年になりますが、コロナの影響で2年近く活動を休止し昨年末にやっと再開することができました。しかしまだ不安定な状況です。

参加メンバーの中には音に敏感な人がいます。換気のため窓を開けることで、バイクの音や子ども達の叫ぶ声などがダイレクトに入ってきてしまい、落ち着いて過ごせなくなります。対応策として、外の音を少しでも抑えられるようにテーブルの配置を工夫したり、心配な人には防音保護具のイヤーマフを準備していました。

久しぶりの活動でメンバーの現況が分からず緊張しましたが、検温やアルコール消毒等をし、コロナ前と変わらぬ様子で支援者の方とゲームや会話を楽しんでいたのを見て安心しました。

彼らにとって『大切な居場所』であると共に保護者同士の情報交換の場になもなつているふれんどを今後も支えていただけないと有り難いです。



矢上小3年生と地域とのコラボ!

日吉宮前地区地域ケア委員会 嶋田 弘美

「住みよく、住み続けられるキレイで素敵な地域づくり」の活動に、「まち探検」の授業で町に興味を持つてくれている3年生に協力をお願いすることになりました。

町のゴミ出しの様子やポイ捨てなどの困っている事を子どもたちに伝えると、真剣な意見が沢山上がり、感心するくらいナイスなアイディアで私たちは拍手をしていました。「地域と一緒にキレイな町にしてくれますか? (はい!) では一緒にやりましょう!」の掛け声に子どもたちは大きく手を上げてくれました。そこで出された意見を作品にしてもらい、9月10日・11日宮前公会堂で作品コンテストを開くことにしました。

その作品は地域の様々な場所で啓発活動に使用させていただきたいと思います。

10月には表彰式の予定をしています。

色々な事が楽しみです。



少しずつ動き出してる箕輪町

箕輪地区民児協 小嶋 亮三

民児協では第3木曜日に乳幼児を対象とした「ひだまりサロン」、七月には七夕まつりの笹飾り(公園サロン)の赤ちゃん会又、親和会(老人会)が地域指定と人数制限をかけて実施された。子供会では感染対策を万全にして盆踊りが行われる予定だったが、集合しての危険を懸念して中止となってしまった。盆踊りを楽しみにしていた子供達張り切って事前練習までした婦人会の人達には残念な事となってしまった。(櫛を組んで提灯まで飾ったのに...)結局これから行事実施目途がたたないままに色々な行事が中止に追いこまれているのが現状である。

民児協での見守り活動も、毎月配布されるチラシ(例えは熱中症予防など)を高齢者宅に投函するだけで、対面での会話もなく少々不安なところではある。何はともあれ、コロナ禍の一日も早い沈静化を願うだけである。



編集
集
後
記

令和4年度 港北区社協賛助会員募集

みなさまからの賛助会費は日吉地区社協の活動に役立てています。
賛助会活動にご理解ご協力をお願いいたします。
今年度は8月1日~
賛助会費 一口2,000円
◎地区社協活動の財源となりますのでご協力ください。



世の中、上がらなくても良い物ばかり上升している昨今、活動に気を配り、気使い、スローリーとでんでん虫のように。

H·A

サロン日吉 「なかよし」10周年

日吉地区民児協 岩堀 康幸



サロン日吉「なかよし」は、港北区地域福祉保健計画「ひづとプラン港北」の策定をきっかけに誕生した「地域の子供から高齢者までの交流」を目的とした活動です。日吉町自治会、映画鑑賞、著名人を招いての講演会、健康体操、ぬりえ、エコたわし作り、折り染めでつくるブックカバー、パパの赤ちゃんと会館等を会場に企画を運営しています。これまでの企画は、10周年記念式典とサロン(子供まつり)が開催されました。式典では10周年の歩みをスライドで振り返りました。スタッフの一人は、「この活動が、今後20年30年と続いて、将来は今日参加した子供たちが大人となつて、みんなの交流を促してくれたら素敵だな」とおっしゃっていました。

ア・ラ・カ・ル・ト

横浜市立日吉台中学校

教育目標は「共に生きる」、具現化のための次の3年間の重点目標は「気づき考える」「自分で決める」「進んで行動する」です。教職員は、傾聴や受容と共感を大切にしながら生徒の良いところを認め、褒めることを実践しています。失敗を恐れず、挑戦し続けることができる生徒を育てます。新型コロナウイルスに打ち勝つように頑張りますので、今後ともご理解とご協力を願いいたします。

校長 続橋 正寿



(編集委員)

◎小嶋・足立(弘)・足立(真)・石井・岩堀
河内・鈴木・山科

◎印は編集長